

令和7年度町政懇談会 質疑応答

日 時 令和7年4月24日（木）～26日（土）
 場 所 嘉祥寺集会所、吉見集会所、ふれ愛センター
 出席者 町長、副町長、教育長
 総務部長、民生部長、住民部長、事業部長、教育部長、企画人権課長、企画人権課
 主幹、企画人権課担当
 一般住民100名、職員68名

住 民	町
<p>W選挙について</p> <p>W選挙を実現するために町民としてできること。もし選挙が実現しなかった場合、次はどういう方向に動いていくのか。</p>	<p>まちづくりについてしっかりとした議論のなかで一票を投じていただき、これからの田尻町を託すにふさわしい人に投票をいただく。貴重なまちづくりに参加していただくという意味で棄権せず自分の思いを一票に託していただきたい。それができないと本当のまちづくりができない。選挙でしっかりとした投票をしていただくということになると思います。</p>
<p>災害対応について</p> <p>町長、議員、町民がこのように分裂していたら災害関連死等の被害をうけかねない。災害発生時避難所を町職員が運営していけるのか。議会が何を反対しているのかわからないが、もっと町職員が真剣にならないといけないのでは。</p>	<p>現状南海トラフ発生時に予想される避難スペースはふれ愛センター、小学校で確保されているが、コロナのようなことや、体調不良の方に対応するためにさらにスペースを準備する必要がある。そのために駅上に施設を作ることでスペースを作ることができる。どこまで準備できたら終わりというものではない。今できることを少しでもやっていく。その1つが駅上防災センターでもう1つが絆づくり。こういうことの繰り返しは災害に強い町田尻につながっていく。答えになったかわからないが是非協力をお願いしたい。</p>
<p>防災センター事業について</p> <p>防災センターを早く進める準備ができないか。またそのために議員の役選について選挙等できないか。</p>	<p>議員の役選については議員間の話合いで決定されるので役場側から意向等伝えることはなく、自身も状況を注視し良い形で決まってくれればと考えている。</p> <p>センターの準備として設計の予算も議会で承認をうけることができないのが現状。今は作るなど言われているので、まず作ることに賛成してもらわないとできない。</p>

住 民	町
<p>仮設住宅建設用地確保について</p> <p>防災センターが決まらないのであれば吉見嘉祥寺のあいている田畑に仮設住宅をいつでも建てることのできるような契約が進んでいるのか、全く進んでいないのか。</p>	<p>田尻町はなかなか遊休地がない。災害となれば資材置き場等に土地が必要となるので、遊休地の代わりに農地を災害時に利用できるように準備中だが充分なところまで至っていない。仮設住宅が必要な災害となれば近隣一帯ということになるので、住宅を準備するのは府となる。仮設住宅用の土地の準備が必要でないというわけではないが、それよりは避難後数週間から 1 か月の避難所で災害関連の被害がでないように町として考えていくほうが優先順位が高いのではないかと考える。</p>
<p>災害時の園児の避難と職員研修について</p> <p>駅上に施設を建てるなら災害が発生した状況で園児が速やかに避難できるように配慮をお願いしたいことと、職員研修を充実させ職員のスキルアップをお願いしたい。</p>	<p>田尻町では 1 人の職員が様々な業務を担っており、大きい市と比べて知識が充分となっていないところがある。もっと（知識を）深くしていかなければいけないと考えている。毎年研修計画を立て短い時間ではあるが取り組んでいる。頑張っていていくのでよろしくをお願いします。</p>
<p>不信任決議の要望に対する 2 議員の見解について</p> <p>「田尻町こどもの教育を考える会」から今井議員と金田議員に上記質問、その回答に対する町長の考えをお尋ねしたい。</p>	<p>それぞれの議員の気持ちに対するコメントは難しいが、不信任決議がされ選挙が実現するのは難しいと考えるなか、議員側が自分たちの行動が住民にひびいているのか考える軸になることは期待します。自分たちのやっていることが住民の支持を得るなかで議員活動をやっていくという原点をもう一度しっかりと考えていただける機会になればというのが一番強いところ。成り行きを見守りたい。</p>
<p>4 つの提案をしたい。</p> <p>① 窓口業務の延長</p> <p>② よしもとふるさと劇団の創設</p> <p>③ 民泊事業（小中学校生）の実施</p> <p>④ 他のまち（特に和泉市）の防災センターに学ぶ</p>	<p>①について田尻町は住民と職員の距離が近い。前もって連絡いただければ時間外対応する体制を作っている。時間外の需要が少ないので延長すると無駄が多くなってしまう。</p> <p>②について地元劇団『ころば一ぬ』を体感ください。</p> <p>③について、まず姉妹提携している宮城県大崎市と小中学校の修学旅行での交流、婦人会などの交流から考えている。今のアイデアもいただきながら実現させていただけたらと思っています。</p> <p>⑤ について地区会、安全安心住民協議会のみなさんが毎年順番に他地域の防災センターに行って防災の意識を高めようとしているので、是非住民活動にも参加していただけて力になっていただきたい。</p>

住 民	町
<p>(防災センターについての) 討論会を希望</p> <p>防災センター事業をすすめていくために全議員、反対派の町民も参加の討論会をしてほしい。反対派は反対理由を言われないので町民として困っている。</p>	<p>なぜ反対しているのか理由を言われないので議論ができずに前にすすまない。今のままでは残りの任期が無駄になるので思い切ってああいう提案をしているが、なかなか前に進んでいないのが現状で残念な気持ちである。同じ気持ちの人がいて力強い、ありがとうございます。</p>
<p>地区会加入者が減るばかりである。増やしていかなければならない。</p> <p>防災については、隣近所が大切であり仲良くしなければならないが、希薄になってきている。</p>	<p>助け合って生きていく、絆が大切であると考えている。祭り、盆踊り、清掃活動、地域活動、サークル活動などすべてがそこにつながる。</p>
<p>議会反対派の意見も聞きたい。ちょうど永井議員が参加しているので説明を。</p> <p>(永井議員)(町長に発言許可を求めてから)</p> <p>建設には 35 億+年間維持費として 7,000 万円以上、他に修繕費、改築費などがかかる。これを誰が払うことになるのか。未来にお金があるかどうかはわからない。人口が減ることは確定している。子どもたちへ直接補助するほうがよいと考えている。</p>	
<p>防災・文化センターを早く作ってほしい。友達に文化に税金使ってもらえるまちが羨ましいと言われた。近隣では、不祥事に税金を使っているところもあるし。</p>	<p>1 日でも早く進められるよう尽力します。</p>

住 民	町
<p>町長への支持</p> <p>反対（議員の）意見を聞きながら町民一人ひとりが幸せになることを考えてほしい。民意を反映し最終的に決断するのは町長なので思い切ってやっていっていただきたい応援します。</p>	<p>住民のために何をしなければならないのかというのがまちづくりの原点なので、（議員のかたがたに）住民のためにやっていかなければならないという気持ちになってもらえるように頑張っていきたい。ご協力お願いします。</p>
<p>中断中の文化センターについて</p> <p>住民の安全にかかわることなのに、反対というだけで具体的なことがない状態で長期放置されている。何とか打つ手がないのか。</p>	<p>反対理由が明確でないなかで反対されている状況なのでそれに対応して前にすすめていくということが難しいというのが現状。もう一度住民に判断してもらう機会をつくるために（W選挙の）提案をした。しっかりとした判断をしてもらわないといけないと思う。</p>
<p>災害時の水の供給問題について</p> <p>現在も災害時、井戸を所有している住民から協力してもらえる状況にあるのか。</p>	<p>現在も協定を結んでいる。加えて水道センターとも災害時の水の供給ができる体制づくりを行っている。</p> <p>水の問題は様々な供給網を準備している。他所から水を供給するのが大前提だが、それができないとき現在風呂として利用していないふれ愛センターの風呂のタンクに常時貯めている水を災害時飲料水に利用することが可能で町民 3 日分の水が確保されているのでご安心ください。</p>
<p>今後の選挙等の予定と一貫校について</p> <p>（W選挙の提案が）スルーされることはないと思うので、今後の議会解散、選挙のスケジュールがあれば教えてほしい。</p> <p>一貫学校園について何かの特化した、他からも注目される魅力ある学校になることを希望する。</p>	<p>0歳から15歳まで町が一体となって教育を継続していく学校、園をつくっていききたい。様々な意見を聞いていくなかでつくっていききたいと思っているので意見を聞かせていただけたらと思っています。</p> <p>（町長）何かの特化するというのも大事だが、昨年からはじめている奨学金制度を受けている大学生が、夏休みの小中学生の勉強会の講師に手を挙げてくれている。参加した小中学生が講師の大学生に刺激を受ける。こういうサイクルが町のなかで出来上がってくることが長い目で見て、素晴らしい町につながっていくとも考えている。教育については皆様から様々な提言をいただいて素晴らしい学校システムにしていきたい。</p>

住 民	町
	<p>1つ目の質問について、どうなるかは議会次第だが、自分は7月に参議院選挙があるので町の選挙は議会解散や町長が辞職後50日以内に選挙となり、5月末から6月初めにやると7月の選挙にあわせられ、言われている選挙費用も抑えられるのでスムーズにいくと考えている。議会にみなさんの厳しいまなざしを注いでいただき、そのように進むよう見守ってください。</p>
<p>小川議員の不信任案に対する意見について</p> <p>議員は上記について「論点のすりかえだ。政策の相違点も文化センター1点のみなので不信任案を出せない。」といわれているが、これに対する町長の意見をお伺いしたい。</p>	<p>昨年から予算案を否決されている。予算案を否決するということは町政が正しくないという意思表示である。議会の中で文化センター反対というだけでなく、自分に対して個人的な不信任をお持ちなのはと感じている。それならば不信任案をだしていただきたらと言っている。文化センター一点のみでなく、自分たちのやっていることについて住民の審判を仰ぐべきだと思っている。結果がでたら、それに基づいて町政をすすめたらいい。総合的な議員活動、自分の施策、全部含めて審判を仰ぎたいと思っている。</p>
<p>農政について</p> <p>開業予定の観光農園に対し町の活性化のために農家、地元としてどのような協力ができるか。休耕田が多く、耕作していても自家用という形態が多くなっている。今が大切な時なので地元の計画がどのようになっているか聞かせていただきたい。</p>	<p>後継者のないなか放置すれば農地が農地外利用され町の農業が行き詰ってしまう。今農家の意向を確認し農地を集約する話し合いをしている。すべての農地を残すことは難しいが、一定集めて整理し農業経営の安定化を図るというビジョンを掲げ話し合いを始めている。これを続けていくなかでモデル事業、打開策がうまれてくる。いちご農園ははじめの大きな一歩。少しずつであるが農家と合意形成しながらすすめていくのでよろしくをお願いします。</p>